

## 【提出意見】

広島大学 永田 忠道

議題1：課題を追究・解決する活動の充実

議題2：系統性・体系性等の整理について

議題3：高校の高次の資質・能力の在り方について

今回のWGの上記の3つの議題に共通することとして、それぞれの議題の個別の方向性に個人的には大きな異論や意見はありません。それぞれ現状では的確な現状把握と妥当な改善の方向性が導かれていると受けとめています。

その上で今回の3つの議論の相互の関係性の観点では少し気になる点もあると感じています。この点は特に社会科・地理歴史科・公民科の場合には、今回の3つの議論を個別に行う意義を認めつつも、「社会科・地理歴史科・公民科における課題を追究・解決する活動」と「社会科・地理歴史科・公民科における系統性・体系性等の整理」が現状の議論でかみ合ったものになっているかどうか気になっています。

さらに、「社会科・地理歴史科・公民科における課題を追究・解決する活動」と「社会科・地理歴史科・公民科における系統性・体系性等の整理」が「社会科・地理歴史科・公民科における高次の資質・能力の在り方」とかみ合った活動や整理になっているかどうか気になります。

例えば、「社会的事象等について調べまとめる技能（小・中・高等学校）」と「社会科，地理歴史科，公民科における学習過程のイメージ」は現状でもある程度はかみ合っているように受けとめていますが，この点と地理歴史科における「導入単元の創設」「探究的な学びの充実」，公民科における「小・中学校の学習で習得した視点や方法（考え方）を用いる」「探究する学習を一層推進する工夫や手立てを充実」がかみ合っているかどうか。そして，これらが「社会科・地理歴史科・公民科における高次の資質・能力の在り方」と本当にかみ合っていることになっているか，なりそうか，なっていくのか，なるのか，ということです。

今回の3つの議論はあくまでも個別の方向性の検討であり，おそらく今後これまで本WGでの全ての個別の議論を包括する簡易なイメージを描いて多くの関係者にとって分かりやすい次代の「社会科・地理歴史科・公民科」の実像を示していくことが求められていくのだろうと考えています。

その際の中軸が今回は「社会科・地理歴史科・公民科における高次の資質・能力の在り方」になるのでしょうか，この在り方の中にいかに「社会科・地理歴史科・公民科における課題を追究・解決する活動」と「社会科・地理歴史科・公民科における系統性・体系性等の整理」もかみ合った次代の「社会科・地理歴史科・公民科」の実像を織り込めるかが鍵になるのだと改めて理解したところです。